

DPC データを用いた病院指標

DPC データから全国統一の定義と形式に基づいて作成した指標のことで、病院の実態をあらわす診療実績とは異なるものです。この病院指標の公開は、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的としています。こうしたデータをもとに当院では、さらなる医療の質向上に向け、質改善活動を行っております。

現在公開している病院指標は、集計期間中に当院を退院した患者さんのデータを対象として作成しています。ただし、自動車賠償責任保険や労災保険、自費等を利用された患者さんのデータは含まれません。

当院では指標の公開にあたり、医療機関ホームページガイドラインを遵守しております。

詳細は、病院指標のページより「医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）」をご覧ください。

<DPC(診断群分類)とは>

入院で行われた治療行為を傷病名や治療内容に応じて分類することを言います。

傷病名と手術、処置の有無の組み合わせによって 14 桁の DPC コードが決められています。

<ICD-10 とは>

疾病及び関連保健問題の国際統計分類です。WHO によって公表された分類で、死因や疾病の統計、診療記録の管理などに活用されます。疾病の種類をアルファベットと数字によって表しています。

<MDC とは>

主要診断群 (Major Diagnostic category) とも呼ばれる疾患分野で、DPC に用いられます。

本統計では DPC にて決定された診断群のうち最初の 6 桁を使用して、疾病の傾向を見ています。

<K コードとは>

K コードとは診療報酬の内、手術の手技に対して分類され、診療報酬料を決められるコードです。

<在院日数、患者数、年齢の考え方>

在院日数	初回入院年月日から最終退院年月日までの延べ日数を表します
患者数	一般病棟への入院を 1 患者としてカウントします。 (指標項目 7「その他」については、一連の入院を 1 患者としてカウントします。)
年齢	初回入院開始日時点の満年齢とします

<病院指標項目>

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数等 (診療科別患者数上位 5 位まで)
3. 初発の 5 大癌の UICC 病期分類ならびに再発患者数
4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
5. 脳梗塞の ICD-10 別患者数等
6. 診療科別主要手術別患者数等 (診療科別患者数上位 5 位まで)
7. その他 (DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)